

若手で創る

CSRの和

YAGO

2023.3

40

特集1 社会課題解決型スタジオ with GREEN PRINTING

特集2 防災特集～災害時の食について考えてみよう～

社会課題解決型スタジオ

「with GREEN PRINTING」



Photo 大山克明

with GREEN PRINTING について

元は営業所として使用していたスペースでした。コロナ禍でテレワーク率が7割、一時はテレワークの良さを従業員も実感したものの、やがてテレワーク疲れが発生。たまにはリアルで会って懇親を深められるスペースが欲しいとの意見が出ました。そこで空いたスペースを従業員憩いの場としつつ、有効に活用しようと動画撮影や収録、配信ができる社会課題解決型スタジオ「with GREEN PRINTING」としてオープンさせました。「環境にやさしい」ではなく「環境に正しい」といった考え方の発信が可能です。環境に正しいだけでは行動は続かないと考え、「楽しい」といった要素も盛り込んでいます。動画収録および配信において使用される電力は全量カーボンオフセット済み（政府J-クレジットおよび横浜ブルーカーボン

の購入によるカーボンオフセット）のため、環境に正しい動画収録および配信が可能。他、弊社セレクトによる地域課題や社会課題解決に取り組む企業や団体、個人の活動紹介や活動が分かる商品の展示や販売を行っています。平均築100年の古民家の廃材を利用した壁面、建築現場の足場の廃材を利用したテーブル、リユースのカーペットの使用など、使われている備品などもアップサイクルやサーキュラーエコノミーについて実感できるスペースになっています。

HP・お申し込みはこちらから



スタジオ詳細



商品の展示・販売スペース



平均築100年の古民家の廃材を利用した壁面



建築現場の足場の廃材を利用したテーブル

これまでの使用例



インターン生企画
「防災力向上勉強会」



創業140周年記念イベント
「紙ングアウト！～脳で考える紙の可能性～」



大川印刷×Harch
「Publish a Sustainable Future：紙とデジタルから考えるサステナブルなメディア・コミュニケーションの未来」

これからに向けて

ここに来れば地域や社会課題解決の情報に触れることができるだけでなく、更に情報を発信することもできる場所として、動画配信や収録ができることはもちろん、各種イベントの開催やコワーキングスペースとしての活用など社会課題解決に携わる人々とのつながりの場にしていきたいと考えています。（今井）

ロゴデザイン/ブランディング：minna 長谷川 哲士氏

弊社が参加した(株)ロフトワーク様のDcraftデザイン経営ゼミに長谷川 哲士さんが講師として登壇されていたことをきっかけに、ブランディング・ロゴデザインをお手伝いいただきました。



株式会社ミンナ HP <https://minna-design.com>

アドバイザー：山崎 達聖氏

立ち上げ時に、撮影や配信、機材面でのアドバイスを、映画監督/映像ディレクターの山崎 達聖さんにご協力いただきました。

同氏は、大学の卒業制作『夢二人形』(98)でカンヌ映画祭にノミネート。2008年『宮城野』を完成。映画監督の公式サイト <https://tatsuji.net/>



SDGsメモ帳「～パラパラ漫画つき～手話で挨拶」：手話をパラパラ漫画で学べる工夫を



第16回MUDコンペティションにて
佳作を受賞しました！



▲視覚的に学ぶことができます

みなさんは、言語によって手話の動作が違うのは知っていますか？このメモ帳は、片面からは日本語で「ありがとう」もう片面からは英語で「Thank you」の手話をパラパラ漫画で楽しく覚える事ができるメモ帳です。コロナ禍でマスクが当たり前になった事で聴覚に障害のある方が、口元が見えない為に相手の発している言葉が分からずコミュニケーションが取りづらいというニュースを見て、手話を学べる何かを作りたいと思い、制作しました。（古川）

大川印刷のBASEにて
「手話のメモ帳[平和](ロシア語/ウクライナ語版)」発売中！

※「手話のメモ帳(ロシア語/ウクライナ語版)」は購入額の1%が「声なき声を届ける」活動を行う認定NPO法人 Dialogue for People を支援します。



SDGs経営の コンサルティングを 始めました！

「どんなに良い講演を聴いても、いざ自分の会社で取り組んでみると、思うようにうまくいかない」
なぜ参考になる話を聴いたとしても自社にて取り組むことができないのでしょうか？それは「経営者はもちろん、従業員さんの状況が講演で紹介されている組織とは異なるから」です。
皆さんの状況に応じたSDGsの推進、脱炭素経営に向けた組織づくりができるよう、目線を合わせたコンサルティングを開始しました。

詳細は
こちらから



取り組みのプロセス

- 1 SDGsを理解**
企業として、役員及び社員がSDGsへの取り組みを正しく理解
- 2 SDGs取組体制の構築**
プロジェクトチームを組成し、各部署での議論、アイデアの創出・集約
- 3 パーパス策定・将来ビジョンの開示**
パーパス/ビジョンをボトムアップで作成
- 4 SDGsを経営に統合**
経営に統合し、活動を開始。ステークホルダーとのコミュニケーションを実施、1年毎に報告会を開催

**SDGsを経営に実装
強い企業に！**
パートナーシップを明確にし、様々なステークホルダーと連携

～災害時の食について考えてみよう～

インターン生の春日がお伝えしたい「防災」について、インターン期間中の取り組みを中心に紹介させていただきます！
防災のゴールはどこなのか答えはありませんが、少しでも考えてもらうきっかけになれば幸いです！

ローリングストックについて知っていますか？

ローリングストックとは、一言で表すと「日常の中に備蓄のサイクルを取り込むこと」です。普段から使う水や米などに加え、缶詰や野菜ジュース、さらにはキッチンペーパーやポリ袋など、食品から加工品、生活雑貨など生活の中で使うものなら何でも大丈夫です。そうしたものを普段から少し多めに買って置き、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておくことができます。「買い足す」→「備える」→「消費する」のサイクルを実践してみてください！



Q&Aと一緒に、もやもやを解決しよう！

Q1

非常食との違いは？

非常食は主に災害時に使用するものですが、ローリングストックは日常から使用し、かつ災害時にも使用できるものです。また非常食は保存期間が長く、調理せずともすぐに食べられるものが多いため、自治体や企業などが長期間保存する際や非常用持ち出し袋に入れておく際に適しています。一方ローリングストックは在宅被災に備えての備蓄に適しています。

Q2

ローリングストックのメリットは？

1. 災害時に慣れない食事によるストレスを減らせます

非常食として備蓄していても日常的に食べ慣れていないものである場合、慣れない食事により体調を崩したりストレスの原因になる可能性があります。また小さな子どもが、いざ食べた時「美味しくない！」「食べたくない！」となることを避けることにもつながります。

2. 災害時に賞味期限切れになっていることを防げます

賞味期限切れ問題は非常食あるあるの一つです。ローリングストックでは、普段使いのものをストックするため、いざ食べる時に賞味期限が切れていることを防ぎやすいです。

Q3

ローリングストックのデメリットは？

1. 保管場所を確保する必要があります

保管場所としてある程度のスペースを確保しなければなりませんし、使う際にも無駄を出さないように賞味期限の順番通りに使う必要があります。古いものが手前にくるように収納方法に工夫をしてみてください！

2. 食べる際に調理器具が必要です

非常食であればそのまま食べられるものが多いですが、ローリングストックでは加熱や調理をしないと食べられないことがあります。でも、カセットコンロを準備しておけば加熱や調理が必要なものにも対応できます！

Q4

おすすめのローリングストックアイテムを教えてください！

| 普段よく食べるお菓子 | 魚の缶詰 | 野菜ジュース | 除菌シート | カセットボンベ |
|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|--------------------------|---------------------------|
| | | | | |
| 災害時甘いものが食べたくなったという経験談も多いです。 | そのまますぐに食べられますし、タンパク質も摂れます。 | ビタミンの摂取に加え、スープなどの味付けにも使えます。 | 断水になったときにも衛生面を保つことができます。 | 停電時のために必須のアイテムです。使用期限に注意！ |



横浜市立大学 ^{かすが} 春日 かなみ

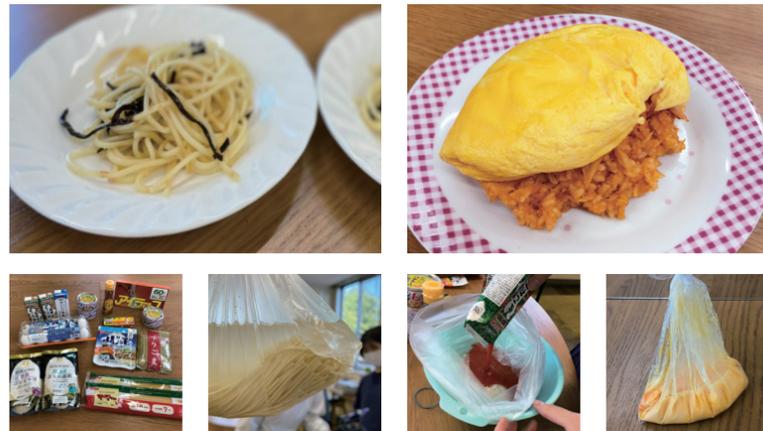
こんにちは！今号のYAGOを担当させていただきました、インターン生の春日 かなみと申します。出身は高知県で好きな食べ物はお豆腐です。防災に興味があり、インターン期間を通して防災に関する取り組みを考えてきました。4月からの9ヶ月間はあっという間でしたが、とても学びになった時間でした。ありがとうございました。

防災食ワークショップを開催しました

もし災害が起きて電気が止まったら…？そのとき在宅避難をしていたら…？そんなときに少しでも食の選択肢が増えるようにと思い、本社の食堂にて「防災食ワークショップ」を行いました。当日のメニューは、野菜ジュースやツナ缶などのローリングストックできる食料を使ったオムライスと和風パスタを選びました。オムライスについては、炊飯器を使わないことはもちろんですが、水の代わりに野菜ジュースを使うことで味付けを同時に行うことができました。和風パスタについても、最初に1時間ほど水に浸けておくことで、ゆで時間を1分近く

短縮することができました。当日は調理に手間取ってしまい、時間ギリギリになってしまいましたが、社員の皆さんが盛り付けをお手伝いしてくださり、なんとか完成させることができました。皆さんに一口ずつ試食していただきましたが、「湯せんで炊いたご飯とは気づかなかった！」「災害時の食事のイメージが変わった！」など嬉しい声を多くいただきました。今回のワークショップが災害時の食について考えるきっかけになってもらえていたら嬉しいです。本当にありがとうございました！（春日）

【完成品と調理過程】



【私のこだわりポイント】



簡易的な紙容器
災害時に水が使えないことを想定し、チラシを使った簡易的な容器を作りました。



カセットコンロ
実際に使ってみると、小さなお鍋が安定しにくいことや火力の調整はコツがあるなと感じました。

大川ジャーナルではより詳しい記事が掲載されています。こちらからは是非ご覧ください！



ワークショップ開催にあたり鈴木 光さんにお話を聞かせていただきました

鈴木 光さんが考案された「my減災マップ®」の取り組みに関するお話や防災を自分事にしてもらうために必要なこと、ワークショップを実施するにあたってのコツなどについて教えていただきました。また、当日のメニューを決めるにあたって「おいしいミニ炊き出しレシピブック」を参考にさせていただきました。お忙しい中たくさんお話をお聞かせいただき本当にありがとうございました。



すずき かり 鈴木 光 さん

一般社団法人減災ラボ 代表理事、博士（工学）。全国各地の自治体職員、地域住民、学校、企業等に、主に地図を使った防災ワークショップや防災講座、講演会、訓練企画等を実施。2013年にクリアファイルを使い地域の災害リスクを楽しく学べる減災教育プログラム「my減災マップ®」を考案。



減災ラボ HP



レシピブックのご購入はこちら

インターン生紹介



岐阜大学 きんじょう さら
金城 早良

取り組み内容

子供をターゲットにした、
SDGs についてのリーフ
レット制作

リーフレット作りや活動を通して、SDGsの量の多さに驚いたのと同時に、進んで挑戦して自分事に捉えることの大切さを学ぶ事ができました。今後は既存のモノの問題点を考え、そこを「自分は如何に解決できるのか・考えられているのか」という視点を持って活動に取り組んでいきたいです。

この2ヶ月で以前よりも成長する事ができました。この成長をもっと活かしていきたいです。



岐阜大学 みやがわ こうた
宮川 晃多

取り組み内容

多言語版おくすり手帳の
PR 動画作成

動画作成のイロハについて学ぶことができました。

動画作成の経験がなかった自分としては、編集までに至る流れを知り、それを自分で行ったことは必ず今後の財産になると思います。そして、動画を完成できなかったことから目標をもっと早く決めていればと、とても後悔しています。また、成果報告の資料をつくる上で、これまで活動の度に書いてきた日報がとても役に立ち、自分の活動を記録しておくことの大切さを学びました。

2022年に活躍したメンバー



製造部 さとう よしのり
佐藤 禎則

取り組み内容

カーボンオフセットをした
インキを提案し CO₂ 削減

成東インキ製造株式会社、東京インキ株式会社2社との連携で、LED-UV インキ(セット4色)とシウマイ弁当掛け紙の特色(紅と黄)昔ながらのシウマイシリーズの金赤を、事前にカーボン・オフセットしたインキを2022年度から使用開始しました。これにより年間13,000kgのCO₂の削減につながります。日刊工業新聞等、メディアにも取り上げられ多くの反響もありました。今後もパートナー企業との連携を大切に、業界自体にこの輪を広げていきたいです。



製造部 ささき じゅんいち
佐々木 順一

取り組み内容

J-クレジット・非化石証書・
FIT電気・グリーン電力証書
などの勉強会や講演に挑戦

脱炭素の取り組みを行っていくうえで、周りの人の協力が何よりも重要だと考えています。

その中で始めた『社内勉強会』。環境用語や考え方などを従業員で共有すると共に、私も復習の意味で大変勉強になっています。

そして、新たに講演も始めさせていただきました。今後は社内での勉強会にとどまらず、脱炭素活動を広げていく活動として、積極的な活動を行っていきます。

【 SNS でリアルタイムコミュニケーションを展開中！ 】



大川印刷 HP
従業員のブログも！



with
GREEN PRINTING
従業員のブログも！

編集人 株式会社大川印刷
大川 哲郎
企画・制作 春日 ななみ(インターン生)
吉川 侑里(企画・デザイン)
発行元 株式会社大川印刷

◆ 本社・工場
〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町2053番地
TEL: 045-812-1131(代) FAX: 045-812-1135

◆ 横浜営業所/with GREEN PRINTING
〒220-0011 横浜市西区高島2-14-12 ヨコハマジャスト2号館3F
TEL: 045-441-2011(代) FAX: 045-441-2014

URL: <http://www.ohkawa-inc.co.jp>
お問い合わせ・ご意見・ご感想は…
magakoro@ohkawa-inc.co.jp まで



MUD
P10444

